



和歌山病院の職員との合同で、春と秋、冬に、季節感あふれる合同行事があります。

今回は、この行事への準備段階を中心に紹介します。病院の療育担当や看護師の方々と打合せを行います。昨年度の反省を活かし、動きの確認や医療の態勢など、細部にわたります。寸劇のリハーサルもします。そこに向けてのダンスの練習もします。病院と分担して、飾りを作ったりもします。以前は、病院のデイルーム（大きい広間）での共同作業でした。

こういった入念な準備のもと、当日を迎えています。今年度の春の合同行事は、コロナ禍において、5月14日に4階北病棟で、午前、午後に、18日に3階南病棟で、午前、午後に、19日に3階南病棟で、午前、午後に、21日に4階南病棟を、午前、午後に、密を避けた形で、分けて行いました。



一学部（和歌山病院入院生）

合同行事 春の運動会

二学部（通学生）

初めての、中間テスト

5月20日(木)・21日(金)に、中学部と高等部で、中間テストがありました。

中学部1年生は、初めての中間テストに臨みました。

「どれくらいテスト勉強したらいいかなー」

「問題によって、答え方がわからなかったらどうしよう」と、テストの直前まで、不安と緊張でいっぱいでした。

子供たちは、この不安に対して、担当の先生方と顔を合わせ、質問したりと、不安を見通しに変えていきました。

「答え方がわからなかったら、どうしたらいいですか」『手を挙げて質問してくれたらいいですよ』といった具合でした。

また、テスト前には、家庭学習をいつもよりがんばったそうです。

当日は、かなりの早さで取り組み、初めての中間テストを終えました。

挑戦！

